

令和4年度 第1回安曇野市歯科口腔保健部会 会議概要

1	会議名	安曇野市歯科口腔保健部会
2	日時	令和4年9月29日(木) 午後7時00分から午後8時10分まで
3	会場	本庁舎 3階 全員協議会室
4	出席者	丸山委員、堀内委員、細萱委員、内川委員、田邊委員、 出井委員、横内委員、寺島委員、寶委員
5	担当課出席者	吉田保健医療部長 障がい者支援課 小林課長補佐 高齢者介護課 高橋課長補佐、太田歯科衛生士 健康推進課 渡邊課長、細田センター長、藤原係長、市川係長 宮沢副主幹、中村主査、白山歯科衛生士、関根歯科衛生士
6	公開・非公開の別	公開
7	会議概要作成年月日	令和4年11月7日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会
- (2) 委員の委嘱
- (3) 保健医療部長あいさつ
- (4) 新委員紹介
- (5) 新部会長指名について
- (6) 部会長あいさつ
- (7) 協議事項
 - ①令和3年度歯科保健事業報告について
 - ②令和4年度歯科保健事業計画について
 - ③その他
- (8) 閉会

2 協議事項の概要

- ①令和3年度歯科保健事業報告について

【主な意見】

(委員)

3歳児の咬合異常ありの数値が年々上がってきているが、何か原因があるのか。

事務局(回答)

口腔機能の発達の獲得が難しいためだと予想している。市としても、むし歯予防と合わせて、口腔機能の発達についての働きかけをしている。

(委員)

小学校の歯科保健指導で加えていけるような指導内容があれば教えていただきたい。

(委員)

しっかりとした原因はよくわかっていないが、健診で咬合異常の人が増えたという実感はある。口腔機能の発達異常や、胎児期の栄養状態改善に伴い、歯が大きく生えてくる等、色々な要因が関わって咬合異常が増えてきていると思われる。咬合異常があれば、矯正や咬合誘導を勧めたり、治療に繋がられるよう情報提供をしていくことが重要と考える。

(委員)

はっきりした理由はわからない。あくまでも私見だが、インターネット上に、おしゃぶりをさせたほうが良いと書いてあるサイトもあり、かえって両親が積極的におしゃぶりを与えているということも原因だと考えられる。

(委員)

3歳児の咬合異常は、上顎前突、反対咬合がほとんどである。上顎前突に関しては、おしゃぶりが高頻度で関わっていることは確かだ。反対咬合の原因に関しては、ほとんど遺伝が原因なので、それがなぜ今の時期に増えてきたのかは分からない。

②令和4年度歯科保健事業計画について

【主な意見】

特になし

③その他

質疑応答

(委員)

歯科口腔保健行動指針が定められて日時が経過している。健康日本21も近々改定されるにあたり、行動指針の改定をする予定があるかどうか教えていただきたい。

事務局(回答)

令和5年度までの計画のため、全体的な市の健康づくり計画を見直していくことになる。

(委員)

特定健診での歯科健診は一昨年頃まで信州大学と関わりがあったが途絶えてしまっている。結果などは保健事業報告に反映されているのか。市に逆報告は降りてきているか。

事務局(回答)

大学の研究については、歯科健診という形は一旦終わっているがその後の医療費などについても研究されている。また機会があれば報告させていただきたい。

全体を通して意見交換

- ・口腔ケアをきちんとすることで、インフルエンザの罹患率や、コロナの重症化率を下げるのが分かっているため、引き続きフッ化物洗口を継続してほしい。

- ・歯科受診ができない高齢者の方々に向けて、口腔機能を維持することの大事さを伝えられるような働きかけをしていくべきだと思う。

- ・小学生や高校生はここ3、4年くらいでむし歯が減って、口腔内の清掃状況が良くなってきていると感じている。今後は、高齢者施設にいる利用者の口腔内へ目を向け、健康維持のために検討していきたい。

- ・歯周病を予防するために、今後もブラッシングの励行に努めていきたい。コロナの影響もあったが、高齢者の方々もむし歯や歯周病予防を頑張っていると思った。

- ・障がい者施設の通所者は、施設内で指導や歯科健診を受けられるが、結果返ししても受診に繋がりにくい状況にある。障がい者が定期健診を受けられる機会を作ってもらいたいと感じている。
- ・訪問看護においても高齢者の口腔ケアは非常に大切なことなので、今後も舌苔や口腔乾燥などのある方には歯科衛生士と協力して指導を行っていききたい。
- ・50歳代でも、歯周病で歯が全くないという方もいる。成人歯科をさらに手厚く周知していくために、行政での歯科衛生士雇用を増やしてほしい。
- ・安曇野市は子ども達の前で実際に歯科指導をしていただけるのが大変ありがたい。また、歯科への意識を高めてきた子どもたちを上手に地域に返すために、歯科受診をしやすい環境作りをしていくことが今後の課題だと考える。

